

Galileo⁴⁰⁸ : LOUDSPEAKER MANAGEMENT SYSTEM



特徴

- 入力4チャンネル:アナログ×4入力、またはAES/EBU×2入力、もしくはアナログ×2入力+AES/EBU×1入力
- 出力8チャンネル:アナログ、フルマトリクスルーティング
- 長距離伝送に対応し、Meyer Soundセルフパワードスピーカシステムも容易に駆動することができる強固な出力段デザイン
- 信号経路、処理内容にかかわらず、全出力チャンネルにおいて一定のレイテンシー
- モノリシック、1 GHz DSPを搭載
- A/D/A変換24bit/96kHz、各デジタル入力にはサンプリングレートコンバータ(96 kHzサンプルレート変換)を装備
- 全ての内部処理は32bit/96kHz浮動小数点演算
- Windows(XP、Vista)またはMac(OS X)上で付属のCompassコントロールソフトウェアによる外部遠隔コントロールが可能(EtherNet接続)
- 入出力チャンネルごとのデレイ設定は最大2秒
- ラインアレイスピーカのアレイEQ機能をはじめとしたMeyer Soundスピーカシステムプリセット
- 位相特性への影響を最小にとどめながら補正可能なTruShapingフィルタ装備
- Meyer SoundのSIM 3オーディオアナライザとのダイレクト接続

Galileo 408スピーカマネジメントシステムは、高い次元のハードウェアとソフトウェアの組み合わせにより、系統の多いスピーカシステムをコントロールする際の複雑な設定や操作をわかりやすくシンプルに行うことができます。Galileo 408は、EIA 1Uラックサイズの筐体に入力4チャンネルと出力8チャンネル、フルマトリクス機能を持ったデジタルプロセッサを備え、専用のCompassコントロールソフトウェアを使用すれば、Windows(XP、Vista)またはMac (OS X)上ですべてのパラメータを包括的にコントロールできます。Compassコントロールソフトウェアの直感的なユーザーインタフェースは、Meyer Sound社(米国:カリフォルニア州パークリー)が長年にわたって複雑なスピーカシステムの最適化を追求し続けることで蓄積した経験が注ぎこまれていきます。

Galileo 408は、コンパクトサイズながら、同シリーズ上位機種Galileo 616 (入力6チャンネル/出力16チャンネル)と同じAD/DA変換24bit/96kHz、内部処理は32bit浮動小数点演算が行われます。Galileo 408スピーカマネジメントシステムは、Galileoシリーズで共通のMeyer Soundのラインアレイスピーカやポイントソーススピーカを使用する際にそれらを補うためのラインアレイEQやエアークロス補正フィルタ、また、さまざまな規模を想定したベーシックな組み合わせによるスピーカシステムプリセットなどの機能が装備されています。

Galileo 408は、リアパネルのSIM BUSコネクタを経由して、精密なオーディオシステムの測定を行うことができるSIM3オーディオアナライザとのダイレクト接続が可能です。

暫定仕様

入力	
入力部	: アナログ×4入力、またはAES/EBU×2入力、もしくはアナログ×2入力+AES/EBU×1入力
コネクタ	: XLRメス(ゴールドプレーテッド)
最大入力レベル	: +26dBu
レベルメータリング	: 4セグメントLEDメータ(各入力)
出力	
出力部	: アナログ8チャンネル
コネクタ	: XLRオス(ゴールドプレーテッド)
最大出力レベル	: +26dBu(600Ω以上)
レベルメータリング	: シグナルプレゼンス/クリップLED(各出力)
サミングマトリクス	: 4×8フルマトリクス
プロセッシング	
デジタル変換	: 24bit/96 kHz
内部処理	: 32bit/96 kHz浮動小数点演算処理
プロセッサ	: モノリシック、1 GHz DSP
外部遠隔コントロール	
ネットワーク	: PCからのネットワーク接続用Etherポートを装備
制御	: 付属のCompassコントロールソフトを使用しクライアント/サーバー方式で完全な双方向通信
AC電源	
コネクタ	: PowerCon
操作電圧	: 90~250VAC、50/60 Hz
消費電力	: 0.56A (110VAC)、0.28A (220VAC)
外形	
寸法	: EIA 1Uラックサイズ、奥行き388mm
重量	: 7.5kg